

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	974.00	2022/1/17
High	1057.00	2022/1/20
Low	967.00	2022/1/18
Close	1032.75	2022/1/21

円建て 円/グラム

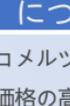
Platinum	Price	Date
Open	3576.00	2022/1/17
High	3880.00	2022/1/20
Low	3563.00	2022/1/18
Close	3774.00	2022/1/21

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	1880.00	2022/1/17
High	2147.00	2022/1/21
Low	1871.00	2022/1/17
Close	2110.00	2022/1/21

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	6907.00	2022/1/17
High	7849.00	2022/1/21
Low	6878.00	2022/1/17
Close	7711.00	2022/1/21



ニュースエクスプレス

コメルツ銀行、プラチナとパラジウムの急騰の背景について言及

コメルツ銀行、コモディティアナリストのDaniel Briesemann は先週の貴金属価格の高騰について記事を書いている。同氏は1月19日ロンドン時間の午後にゴールドが急騰して2ヶ月ぶりの1840ドルという高値を付けた後に、その記事を出しているが、ゴールドは翌日20日も高いレベルを保っている。同氏によると、「19日の急騰は米ドルと米国債利回りとは関係ない。米ドルはわずかに下がっただけだし、金利は高止まりのままほとんど変化していない。」

価格急騰に理由については、「19日はETF投資家の買いが大量に入り、ブルームバーグによるとゴールドETFの買いはほとんど9トン近くで、昨年11月半ば以来、一日としては最高となった。工業用途色が強い貴金属はゴールドよりもさらに激しく高騰した。」

その他の金属について同氏は、「堅調なゴールドとベースメタルの急騰という双方から同時に影響を受けたために上昇した。シルバーは3%近く上がって20日は24ドルを超えて取引されており、これも同様、2ヶ月ぶりの高値だ。」

再び貴金属について、同氏の記事によると、「プラチナとパラジウムはそれぞれ4%以上、5%以上と、さらに大幅続伸したことで、プラチナは1000ドルのラインを超え、パラジウムは2000ドルのラインを取り戻した。パラジウムはさらに昨日、一時7%も上昇した。」

これについて、同氏はその背景として、「米バイデン大統領がロシアはウクライナ侵攻を企てているなどとし、ロシアとウクライナの対立で供給への懸念が出てきていることが挙げられる。報復として西側はロシアに制裁を課せば、ロシアはパラジウムなどの資源の輸出を制限あるいは停止することもあり得る。」

ジョンソン・マッセイのデータによると、ロシアは、南アフリカに次ぐ世界第2位のパラジウム生産国で供給の38%を占める。自動車産業にとって重要なパラジウムの輸出に制限がかかれば、影響は避けられなくパラジウム市場は極端な供給不足に陥るだろう。

<https://www.kitco.com/news/2022-01-20/Commerzbank-make-some-sense-of-the-moves-in-Platinum-and-Palladium.html>

銀歯治療費、改定素早く 貴金属高騰で議論本格化 歯科医に「逆ざや」頻発

「銀歯」を使った歯科治療費の改定頻度を高める議論がヤマ場を迎えている。原材料となる貴金属相場の変動に政府の治療費改定が追いつかず、歯科医の仕入れ価格が治療費を上回る「逆ざや」も生じている。歯科経営の不安を和らげるため、相場変動をより早期に反映する仕組み作りが本格化する。

虫歯治療に使う銀歯は、銀より高価な金とパラジウムも多く含む。特に供給量の少ないパラジウムは価格変動が激しい。主にガソリン車の排ガス触媒に使い、国際的な環境規制の強化で需要が急増。パラジウムの国際相場は2021年春に一時1トロイオンス3019ドルと、史上最高値を記録した。

足元の価格は半導体不足に伴う自動車減産の影響で1900ドルを下回り、高騰に一服感がある。それでも歯科医の悩みは消えない。治療費にあたる公定価格を政府が決め、仕入れ価格が大きく変動しても迅速に反映できないため。近年は貴金属相場の上昇トレンドが続き、仕入れ価格も下がりづらくなっている。

銀歯の公定価格は基本的に2年に1度の診療報酬改定に合わせて決まる。過去にも原材料相場に大幅な変動があった場合、より短期間で価格を見直す随時改定のルールを設けるなど、制度の改善が図られてきた。それでも歯科医が仕入れる銀歯の実勢価格と公定価格の差は埋まらず、歯科医にとって赤字となる「逆ざや」も頻発した。

政府はさらなる対策に動く。22年度の診療報酬改定に向け、21年7月から厚生労働相の諮問機関の中央社会保険医療協議会（中医協）で、「歯科用貴金属の価格改定」をテーマの一つに設定し、議論を重ねた。

<https://www.nikkei.com/article/DGKKZ079247320U2A110C2QM8000/>

Translated by JBMA Osawa KAZUKO



WPIC直近の活動

- プラチナベースの医薬品有効成分市場の世界規模は、2028年までに370億ドルに拡大すると言われていた。詳しくはプラチナ豆知識「医療前線の拡大」（2022年1月19日）をご覧ください。
<https://platinuminvestment.com/about/60-seconds-in-platinum/2022/01/19>

- 工業のプラチナ需要は2013年以来、世界のGDP成長率の2倍で増え、自動車に次ぐ第2のプラチナ需要分野となった。詳しくは「プラチナ投資のエッセンス 2022年1月号」をご覧ください。
https://platinuminvestment.com/files/234944/WPIC_Platinum_Essentials_January_2022.pdf



@wpicjapan

免責事項：本資料は情報提供に過ぎず、WPICの投資提案を意図するものではなく、また、そのように解釈されるべきでもありません。